



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月13日

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)鈴木 健史  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581  
四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	793	13.0	△42	—	△62	—	△11	—
25年3月期第1四半期	702	29.1	△125	—	△142	—	△70	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	△1.	13	—	—
25年3月期第1四半期	△6.	73	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
26年3月期第1四半期	6,488	—	692	—	10.7	8.83	—	
25年3月期	6,546	—	707	—	10.8	10.34	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 692百万円 25年3月期 707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	6.6	40	—	△10	—	85	44.8	8.14
通期	3,300	0.6	△40	—	△140	—	30	38.2	2.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P3「サマリー情報(その他)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	10,453,920株	25年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	17,037株	25年3月期	17,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	10,436,883株	25年3月期1Q	10,437,261株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による積極的な経済・金融政策を背景に景気は持ち直し始め、企業業績や消費動向も改善の兆しが見え始めてまいりましたものの、為替や株価の変動、中国経済の成長鈍化、欧州経済の先行き不透明感等景気回復へ向けた不安要因は依然として残っております。

リゾートホテル業界におきましても、景気の持ち直しを受け、国内旅行については地域間に格差はあるものの回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、太平洋沿岸部の地域におきましては依然として風評被害による厳しい状況が続いております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題として取組み、諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の営業収益は793百万円と前年同四半期と比べ91百万円（13.0%）の増収となり、営業損失42百万円（前年同四半期は125百万円の損失）、経常損失62百万円（前年同四半期は142百万円の損失）、四半期純損失11百万円（前年同四半期は70百万円の損失）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ57百万円減少し、6,488百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ29百万円減少し、891百万円となりました。これは主に、未収入金が37百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ27百万円減少し、5,597百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が35百万円増加したものの、建物が50百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ36百万円減少し、5,037百万円となりました。これは主に、賞与引当金が16百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が15百万円、未払金が12百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4百万円減少し、759百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ15百万円減少し、692百万円となりました。これは主に、四半期純損失11百万円の発生によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は前期に引続き東日本大震災の影響が残る厳しい環境にありますが、夏季シーズンをむかえ、リゾートホテルの稼働が最も高くなる期間であります。好天にも恵まれそうであり、第2四半期累計期間及び通期業績ともに当初予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度におきまして4期連続営業損失を計上し、当第1四半期におきましても解消には至っておりません。こうした状況により継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

この要因の極めて大きな部分は平成23年3月11日の東日本大震災とそれに伴う原発事故の影響によるものであり、その為の補償として東京電力株式会社より平成23年度353百万円、平成24年度238百万円を受領しており、当第一四半期におきましても53百万円請求致しております。

一方、このような状況に対処すべく、ビジネスホテルのフランチャイズ化やリゾートホテルの事業改革等諸施策を実施するとともに人件費・経費の見直し・圧縮を進めキャッシュ・フローの創出に取り組んでおります。また、金融機関の支援体制も得ており、改革を着実に実行していくことにより業績と信頼の回復に努めてまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	550,583	569,922
受取手形及び売掛金	154,741	131,455
たな卸資産	47,767	50,973
未収入金	100,675	63,238
その他	67,735	76,493
貸倒引当金	△307	△234
流動資産合計	921,194	891,848
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,166,417	12,167,367
減価償却累計額	△8,369,841	△8,421,001
建物（純額）	3,796,576	3,746,365
構築物	519,826	519,826
減価償却累計額	△466,105	△467,061
構築物（純額）	53,721	52,765
機械及び装置	227,936	227,540
減価償却累計額	△203,399	△201,955
機械及び装置（純額）	24,537	25,585
車両運搬具	38,090	36,507
減価償却累計額	△30,677	△28,988
車両運搬具（純額）	7,413	7,519
工具、器具及び備品	846,489	846,489
減価償却累計額	△769,661	△771,723
工具、器具及び備品（純額）	76,828	74,765
土地	1,086,529	1,086,529
リース資産	62,160	62,160
減価償却累計額	△39,636	△42,744
リース資産（純額）	22,524	19,415
建設仮勘定	—	35,700
有形固定資産合計	5,068,130	5,048,647
無形固定資産		
投資その他の資産	27,741	27,110
投資有価証券	118,689	113,408
差入保証金	240,305	240,152
保険積立金	143,150	143,150
その他	33,906	31,582
貸倒引当金	△7,007	△7,005
投資その他の資産合計	529,043	521,287
固定資産合計	5,624,915	5,597,045
資産合計	6,546,110	6,488,893

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,552	87,492
短期借入金	3,917,200	3,907,731
1年内返済予定の長期借入金	677,083	661,547
未払金	22,204	9,591
未払費用	210,362	207,373
未払法人税等	12,251	4,036
未払消費税等	20,885	16,428
賞与引当金	—	16,422
その他	135,704	126,783
流動負債合計	5,074,243	5,037,408
固定負債		
繰延税金負債	13,176	11,321
退職給付引当金	159,906	163,842
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	552,342	549,142
その他	20,781	17,205
固定負債合計	763,997	759,303
負債合計	5,838,240	5,796,711
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△441,667	△453,431
自己株式	△3,682	△3,682
株主資本合計	679,998	668,234
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,870	23,947
評価・換算差額等合計	27,870	23,947
純資産合計	707,869	692,182
負債純資産合計	6,546,110	6,488,893

（2）四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
営業収益	702,288	793,673
営業費用	827,843	836,642
営業損失（△）	△125,555	△42,969
営業外収益		
受取保険金	3,269	—
助成金収入	672	—
その他	3,919	5,148
営業外収益合計	7,860	5,148
営業外費用		
支払利息	25,070	23,754
その他	36	428
営業外費用合計	25,107	24,183
経常損失（△）	△142,801	△62,004
特別利益		
受取補償金	84,057	53,270
特別利益合計	84,057	53,270
特別損失		
固定資産売却損	—	70
固定資産除却損	64	851
損害賠償金	9,300	—
特別損失合計	9,364	922
税引前四半期純損失（△）	△68,108	△9,655
法人税、住民税及び事業税	2,108	2,108
法人税等合計	2,108	2,108
四半期純損失（△）	△70,216	△11,764



（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

（5）セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	548,511	125,475	673,986	28,301	702,288	—	702,288
セグメント損失（△）	△93,927	△4,572	△98,500	△10,333	△108,833	△16,721	△125,555

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,721千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	632,053	131,855	763,909	29,763	793,673	—	793,673
セグメント利益又は 損失（△）	△26,611	2,553	△24,057	△2,272	△26,330	△16,638	△42,969

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,638千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。